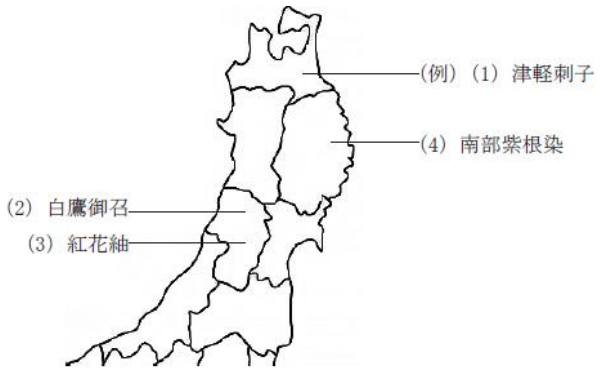
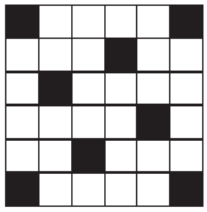
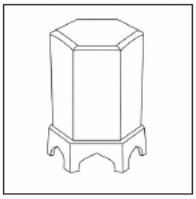
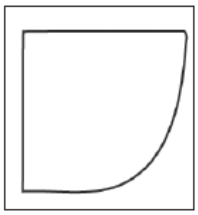
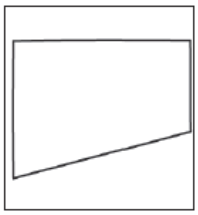
2026 年 11 月 8 日(日)実施 「第 21 回きもの文化検定」
【1 級試験】 解答速報

※以下に掲載する解答は速報であり、受験者に 12 月下旬に「合否結果」と共に送付する「解答と解説」を以って公式解答とします。

問 1	（ア）草履（ぞうり） （イ）雪駄（せった）
問 2	（ア） 7 （イ） 1
問 3	背守り
問 4	
問 5	東京都・新潟県（完全解答で 1 点）
問 6	（ア）片撚り （イ）小裁ち （ウ）組紐
問 7	藍染が、地中に埋めた藍壺で浸染するのに対して、引き染などは地上で染めることから、そのように呼ばれる。
問 8	（ア）小麦粉 （イ）一珍染
問 9	原型：小本 道具：刷毛
問 10	（ア）地入れ （イ）豆汁 （ウ）布海苔液（（イ）と（ウ）は順不同）
問 11	（ア）引き染（イ）浸染（ウ）明治（エ）扱き染（（ア）と（イ）は完全解答で 1 点）
問 12	（ア）大杼 （イ）小杼 （ウ）シャットル
問 13	濡れ緯
問 14	B 竪機 → A 水平機 → C 地機（完全解答で 1 点）
問 15	刀杼
問 16	綟り織・風通・ビロード
問 17	（ア）網代 or 崩し （イ）杢糸
問 18	手花織
問 19	藍を自然発酵させて染める原始的な方法で、栗駒地方では夏の２か月しか染めることができない。

問 20	
問 21	黄櫨染色
問 22	（ア）大紋　　（イ）革緒　　（ウ）袴
問 23	山東京伝（さんとうきょうでん）
問 24	（ア）縫箔　　（イ）綸子　　（ウ）摺箔
問 25	（１）鶸色　　（２）狐色　　（３）洗朱色
問 26	（ア）黄色　　（イ）紅色　　（ウ）烏梅
問 27	（ア）割付 or 繋ぎ　　（イ）紗綾形
問 28	（正解）貝合わせ　　貝桶   （完全解答で１点）
問 29	（1）箙（えびら）　　（2）矢羽根　　（3）結び文
問 30	（1）立木瓜　　（2）五七桐　　（3）千成瓢
問 31	（正解）　元禄袖　　筒袖  
問 32	（ア）　無双　（ イ）半無双
問 33	14 枚
問 34	繰り廻し
問 35	柄巻きぼかし
問 36	（ア）天目染　　（イ）色糊 or 糊
問 37	（1）（ア）錦（にしき）　　（イ）表着（うわぎ）　　（ウ）汗衫（かざみ） （エ）袒（あこめ） （2）表：薄紫　裏：青
問 38	カマ or 釜 or タマ
問 39	（1）芥子繍い　　（2）相良繍い

問 40	壁糸の名は、土壁の下地「竹小舞」に荒縄を絡ませた姿に由来します。縮緬に壁糸を織り込むと、精練後に表面に凹凸が生じ、強撚糸による生地の伸縮を抑えることができます。
問 41	織物は経糸を平行に並べて、そこに緯糸を交差させて布面をつくる。編物は糸をループ状にして、そのループをつないで布にする。
問 42	白上布は、紅露の濃縮液を用い竹櫛などで摺込み捺染して絣を作る。織り上がった反物を約 10 日間天日で干した後、海で晒し不純物を取り除き染料を定着させ白を引き立たせる。色上布は、括り染めで絣を作り、黄、青、緑、ピンク、グレー、茶など多彩な色がある。天日干しや海晒しは行わない。（135 字）
問 43	・基本は手縫い（解くと縫目が残らない） ・運針を中心とした直線縫いが多い ・縫込みをほとんど切り落とさず縫い込んで仕立てをする ・解けばもとの形に戻る（仕立て替えができる） など
問 44	解き洗いは、きものを解いて反物の状態に戻し、水と石鹸で洗う方法です。水洗い後に張りを行い、元の寸法に整えるため、一般に「洗い張り」と呼ばれます。部分洗いとの併用も容易です。丸洗いは、きものを解かず、石油系溶剤を用いて洗う方法です。絞りや厚地の生地も洗いやすいのが特徴です。（132 字）